

発行所

大阪市立泉尾工業高等学校内

大阪白水会

〒551-0031

大阪市大正区泉尾5-16-7

TEL 06-6552-2221代

FAX 06-6554-7612

振替 00940-1-82966

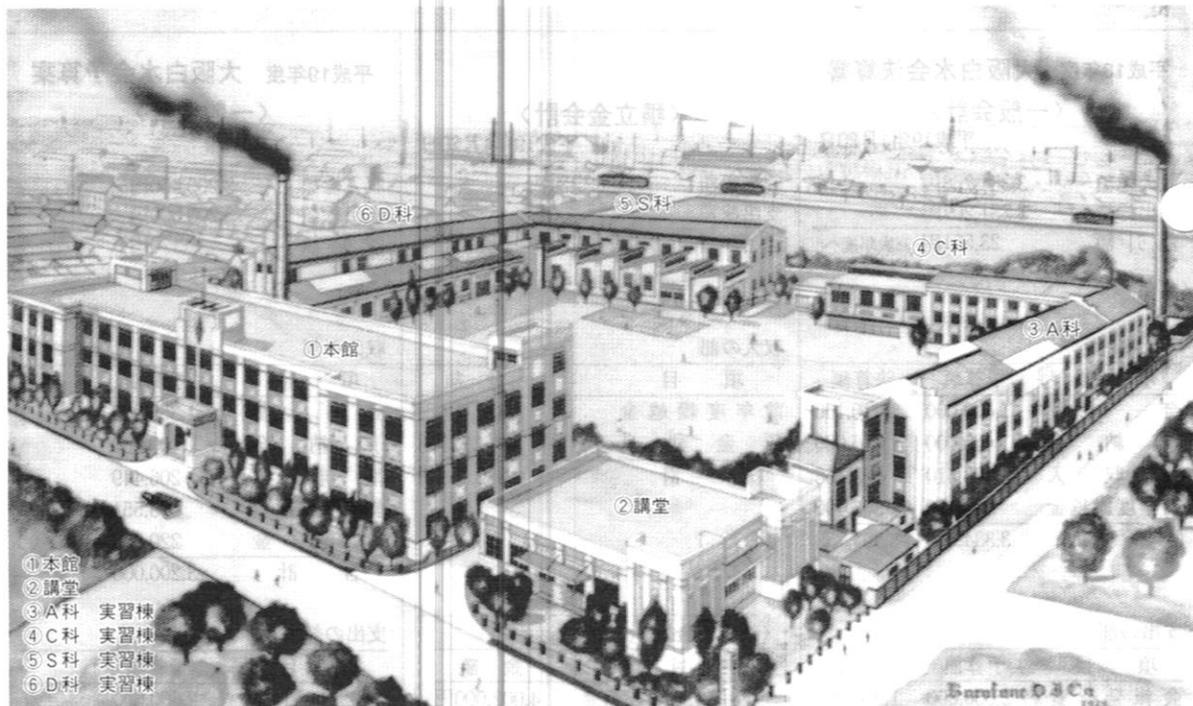
発行人 中村 久住

編集責任者 榎本 俊和

目次

- (2) … 事業・会計報告
- (3) … 新・旧会長のご挨拶
- (4) … 尾上一郎氏「藍波集」をめぐって
- (5) … 新校長挨拶
- (6) … 退職・転任のご挨拶
- (8) … 各科だより
- (10) … 社会人1年生
- (12) … 体育祭・文化祭
- (14) … 部活動報告
- (18) … 先生お元気ですか
- (20) … この人登場
- (21) … こんなかい どんなかい
- (24) … 補報
- (25) … 会員だより
- (27) … 会費寄付納入一覧

白水会報



創立6年目頃の校舎俯瞰図（昭和3年頃制作）

創立85周年と大阪白水会

泉尾工高は今年、創立八十五年を迎える。また、大阪白水会は一九二六年（大正15）五月発足であるから、八十一年の歴史を数えることになる。

大阪白水会の目的とするところは、会則第三条で「本会は会員相互の親睦と相互扶助をはかり、母校の発展に寄与することを目的とする」とうたっている。

この目的を達成するために会報などの発行、総会の開催、母校に対する精神的並びに物的の援助などの事業を行うことを定めており、別記報告にあるように行われている。

ただこの状況を今後も維持していくには、大阪白水会の諸活動への会員諸氏の積極的な参加と事務局の継続的な確立が求められる。

たとえば会報への投稿とか総会への参加、会費の納入といった形での参画なら、どなたでも一歩を踏み出していただけるのではないだろうか。

後者の事務局問題は、母校在職会員に依存する今までのあり方をどうするのかという議論と方策が緊急に求められている。その一法としての白水会サポーターの募集もご検討いただければと思う。

八十数年の歴史を背負いつつ大阪白水会は、今後に向けた課題の解決を迫られている。

平成19年度役員(敬称略)

会長 中村 久住 (D37)
副会長 檜尾 俊明 (S32)

会計監査

常任理事長 山本 俊和 (C41)
東京支部長 山本 俊和 (C41)

平成18年度事業報告

役員・理事会 18年6月9日(金)
(於 やすらぎ)

会報発行 18年7月1日(木)
東京支部総会 18年7月8日(土)

総会 18年7月14日(金)
(於 AGORA)

母校後援事業 卒業生を囲む会
(6月5日より30日)

教育後援会を通じての財政援助
(10万円/年)

常任理事会 随時

平成19年度事業計画(案)

役員・理事会 19年6月8日(金)
(於 やすらぎ)

会報発行 19年7月1日(日)
東京支部総会 19年7月14日(土)

総会 19年7月13日(金)
(於 AGORA)

母校後援事業 卒業生を囲む会
(6月4日より30日)

教育後援会を通じての財政援助
(10万円/年)

常任理事会 随時

平成18年度 大阪白水会決算書

<一般会計>

平成19年4月20日

収入総額	3,354,758円
支出総額	3,331,207円
差引額	23,551円…次年度へ繰越

収入の部

項目	予算額	決算額
会費	1,400,000	1,410,100
予納金	1,400,000	1,416,000
雑収入	228,510	223,168
前年度繰越金	305,490	305,490
合計	3,334,000	3,354,758

支出の部

項目	予算額	決算額
会報発行費	2,000,000	1,990,984
総会費	290,000	268,962
新入会員歓迎費	170,000	174,930
退職記念品料	184,000	184,000
議費	160,000	164,000
教育後援会分担金	100,000	100,000
出張費	150,000	200,000
事務・通信費	180,000	125,816
雑費	100,000	122,515
合計	3,334,000	3,331,207

<積立金会計>

平成19年4月20日

収入総額	2,382,131円
支出総額	0円
差引額	2,382,131円…次年度へ繰越

収入の部

項目	金額
前年度繰越金	2,381,604円
預金利息	527円
合計	2,382,131円

<教育基金>

項目	金額
前年度からの繰越金	4,002,000円

監査の結果 正確であることを認めます

平成19年4月30日

会計監査 磨田 昭男 ㊟

会計監査 山口 實 ㊟

平成19年度 大阪白水会予算案

<一般会計>

収入総額	3,200,000円
支出総額	3,200,000円
差引額	0円

収入の部

項目	予算額
会費	1,350,000
予納金	1,400,000
雑収入	206,449
前年度繰越金	23,551
補助金	220,000
合計	3,200,000

支出の部

項目	予算額
会報発行費	2,000,000
総会費	270,000
新入会員歓迎費	180,000
退職記念品料	64,000
議費	160,000
教育後援会分担金	100,000
出張費	150,000
事務・通信費	140,000
雑費	136,000
合計	3,200,000



匠の技で、未来を築く

益田建設株式会社

代表取締役 益田 治 (昭和37年築業科卒)

〒554-0013 大阪市此花区梅香2丁目2番17号
TEL (06)6461-5212 FAX (06)6461-2420

染料・顔料・工業薬品

平岡染料店

平岡利隆 (D31卒)

〒543-0044 大阪市天王寺区国分町18-11
TEL (06) 6771-7426
FAX (06) 6779-7794

いつも若く元気で楽しい白水会へ



大阪白水会長 中村 久住

大阪白水会の皆さま、初めまして。

平成18年に会長に推薦いただきました中村久住（D科37年卒）です。

私のプロフィールを紹介させていただきます。

在学时一年生の時はバスケットボール部（身長を伸ばす為）、三年生の時に登山部入部。顧問に素晴らしい柳田先生が居られ、夏山合宿で富山剣岳・立山・五色ヶ原・平の渡し・針ノ木岳・大町への七日間の大縦走に参加。この山行が私の人生を決めました。

卒業後七年間、生駒織物株に勤務、その後今日まで、登山用品の販売業に従事いたしております。

また、北米のマツケンレー山、ネパール王国のダウラギリ6峰・4峰の遠征登山隊にも参加いたしました（泉工OBも2名参加しました）。

現在、大阪うすゆき山の会を創り、安全と健康と楽しい登山を主眼として活動いたしております。皆さまと一緒できれば望外な喜びです。

ところで、大阪白水会は大阪市立泉尾工業高校卒業生約一万九千人を会員とする大きな親睦団体です。平成元年から二年生まれの若い方から明治末年までの幅の広い会員で構成されております。

大阪白水会創立の原点に立ち返り、一万九千人の方との親しいお付き合いをさせていただくには何が必要かと考えております。

どうぞ皆さまの知恵とアイデアを出して下さい。理想といたしましては、卒業年代毎の横糸とクラブ活動の縦糸の中で、理事と理事会が構成され、三カ月に一回は会合を持ち、よりよい大阪白水会への集まりとなればよいのですが。

しかし、大阪白水会の運営は母校に在職される先生方の応援で出来ているのが現実です。一般会員の中より運営と実務をしていただける方が必

要です。ぜひ手を挙げて参加して下さい。

私のテーマ
大阪白水会のよき仲間との付き合い。

ざっくばらんな集まり。なんでも言い合える大阪白水会。
会員同士の深い親交。

そのお手伝いの中核が理事会だと考えております。皆さま方のご支援をお願いいたします。

母校のホームページを見て下さい。

ご存じの方も多いと思いますが、母校のホームページの内容が更新されております。学校案内だけでなく、各科の紹介や体育祭、文化祭の内容などもその都度新しくなっております。大阪白水会の紹介コーナーも準備されております。「泉尾工業高校」で検索するだけで、母校の近況が分かります。皆様からのアクセスをお待ちしております。また、ご意見、ご感想などもお寄せ下さい。
(<http://www.ocec.ne.jp/hs/izuo/index.html>)

会長退任にあたって



大阪白水会前会長 西山 瑞彦

平成十二年五月にM34卒の同窓で常任理事の佐々木君より「会長を引受けてほしい」との依頼が有りました。翌年一月には定年でリタイアするので、時間も取れるだろうと考えお受けしました。七月の総会でご承認を頂き就任しました。本来任期は二年でしたが、平成十四年十月に母校が創立八十周年を迎えられるので三年の条件でした。当初は大変な事に成ったなど思いはしましたが、今思えば大きな節目に関わった事で忘れられない事と成りました。実行委員会とはひんばんに母校で開かれ、記念事業として一、白水会誌の発行（これは学校側が発行される記念誌とは別に白水会として同窓生の「生き様」を残すもの）、二、体育祭、文化祭への援助、三、生徒、関係者への記念品、四、祝賀会

の開催を計画しました。特に委員会でご心配したのは、この景気低迷の中、募金、賛助広告、会費制の祝賀会等にどれだけの協力が頂けるか？という事でした。しかし、各位のご尽力と会員諸氏に支えられ大成功だったと自負するものです。

そして、あつという間の三年が過ぎましたが平成十八年、中村次期会長が決まるまで三年かかると計六年を経ました。総会も理事会のご尽力によりここ数年参加者は増えてはいるものの六辻元常任理事長の「白水会の活性化をどうはかるのか」の提言の様に問題もかかえております。その辺の事に明確な前進が見られなかった事は反省しております。六年の間、校長も三人変れられましたが、多くの方々と出逢い各位のご支援で延長戦まで無事完投できました事に感謝し、退任のごあいさつとさせていただきます。今後は側面から応援し、会の発展に微力ながらお役に立ちたいと思っております。有難うございました。

尾上 一雄氏「藍綬褒章」を受章！

大阪白水会副会長 尾上 一雄氏（昭和34年、工業化学科卒）が、経済産業省 中小企業庁を通じて、平成19年度春の褒章で「藍綬褒章」を4月29日付けて受章され、5月16日伝達を受けられました。

尾上 一雄氏は泉尾工高卒業後、家業（株式会社オノ工家具）に従事され、社長に就任、現在は同社会長として、また大阪府家具商業組合理事長として業界の牽引車として尽くされてきました。今回の受章は、この長年にわたる家具・インテリア商業界の振興発展に寄与されたことが労われたと言えます。

褒章は、官公庁、公共分野、工業分野での受賞者が目立ちますが、商業分野での受章のケースは相対的に少なく、家具・インテリア商業界では十七年ぶりの受章ということだそうです。

私たち同窓生の中より「藍綬褒章」受章の栄誉に輝く方が出られたことに、お祝い申し上げますとともに、心からお喜び申し上げます。

藍綬褒章受章について

平成19年春の褒章に際し、はからずも藍綬褒章受章の栄に浴し、身に余る光栄と存じます。

顧みますれば、大阪市立泉尾工業高等学校を卒業後、来年85周年を迎えます父創業の株式会社オノ工家具を引き継ぎ、また現在では大阪府知事認可団体の大阪府家具商業組合理事長職を務めるなど、大阪家具・インテリア業界に携わり早や50年の月日が過ぎようとしております。

その間、永年にわたり携わって参りました歴史の重みと、家具・インテリア業界の振興発展に誠心誠意、尽力して参りました努力が認められ、このたびの褒章受章に繋がったものと自負しております。

ところで、当組合先輩が受章されました平成2年以來、実に17年ぶりの褒章受章で、永年の悲願を達成したことは組合関係者の慶びも一入といったところです。

また、去る5月16日には上京、褒章の伝達を受けた後、皇居へ参内のうえ天皇陛下に拝謁する栄誉に加

え、親しくお言葉を賜り感激の極みでありました。このことは一生忘れ得ぬこととなりましょう。

このたびの受章は、大阪白水会諸兄や家具・インテリア業界の諸先輩・関係者のもとより、会社・従業員や家族を含めた多くの方々を支えられ、皆さんのお陰で受章できたものと肝に命じる次第です。

今後は、栄誉に恥じることなく健康に留意し一層精進を重ねながら、家具・インテリア業界及び社会に少しでも貢献できるような粉骨砕身努力して参りますので、倍旧のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

平成19年5月18日
大阪府家具商業組合理事長
株式会社オノ工家具取締役
会長

尾上 一雄



各種工業窯炉の設計・施工
各種焼却炉施設の設計・施工
各種耐火物の販売他

(創業1892年)
井原 窯炉工業株式会社

Home Page:<http://www.ihara-furnace.co.jp>

ISO9001認証取得

取締役相談役 井原 巖
(昭和20年窯業科卒)

本社 〒531-0074 大阪市北区本庄東3丁目5番21号
電話 06-6372-3321 FAX 06-6372-3227

大阪営業所・横浜営業所・九州営業所・名古屋営業所
台湾支店

藍綬褒章

褒章とは栄典制度の一つで、勲章が国家に功績ある者に与えられるのに対し、社会や公共のために尽くした人々に与えられる栄典である。

紅綬褒章など6種類あるが、藍綬褒章は「公衆の利益を興した方又は共同の事務に尽力した方」を授与対象としている。藍色の綬（勲章をさげるひも）にメダルが下がり、メダルの表面に褒章とあり、裏面には賜氏名が入れている。



ファニチャーアウトレット ゲット

株式会社オノ工家具 アウトレット事業部

<http://www.kaguget.com>

Get大阪 〒550-0015 大阪市西区南堀江3-3-8

TEL 06-6543-4141 FAX 06-6531-4109

Get神戸 TEL078-858-4147 Get真面 TEL0727-22-3224

Get豊中 TEL06-6849-3057 Get東北 TEL072-298-1717

昭和34年工業化学科卒 代表取締役会長 尾上 一雄

新校長挨拶



校長 坂口 誠

白水会の皆様には平素より本校教育のために、格段のご理解とご支援を賜り有難うございます。

さて私、この4月に着任してまいりました坂口と申します。本校へは5年ぶりの復帰となります。以前にも増してご支援賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。本校は創立以来85年という長い歴史をもつ学校であります。この間の卒業生は約19,000名にもおよび、工業高校の中でも特に伝統を誇る学校です。現在、これらの卒業生の方々、産業界はもとより社会のあらゆる分野で活躍しておられ、在籍する生徒にとって大きな心の安心であり目標となっております。また同時に、日々の学習の土台にもなっております。

工業教育の目標はものづくり精神を育むことにあります。

そのため、各科では学習内容に製作・組立てを多く取り入れた実習や座学を実施してまいります。そしてその成果を発表するための各種コンテスト等への参加を積極的に行ってきました。昨年度はファッションショーやソーラーカーレース、電気工事士大会そして大阪市芸術祭や産業教育フェアへの参加など多くの各種コンテストやレースに参加・出場し好成績を残してきました。これが本校の活性化に繋がるものづくり教育であり、今後にも継続すべき方向であると考えています。

次に本校の進路状況ですが、昨年度は我が国の経済好転の影響もあり、就職内定率はほぼ100%と大変好調でありました。これもひとえに従来から支援を賜っている企業ならびに同窓会の方々の厚いご支援があつたのことに感謝しております。進学面では大学や短期大学、専門学校への進学者が年々増え、昨年度は約25%の生徒が進学しました。この数字は生徒の進路の多様

化をあらわしており、これに対応した教育の実践が本校の課題でもあります。

学校行事では、5月に恒例の体育祭が行われ、午後の応援演技では1000人近くの来場者が来られ、アイデアと工夫が盛られた背景の下、見事に統制のとれた応援演技が披露されることに、グラウンドが大歓声と拍手に包まれました。これも本校の伝統の一つであり、次の時代の生徒に受け継ぐ財産であると、思いを新たにした体育祭でありました。最後にこれからの本校の取り組みべき課題であります。本校は工業高校であります。他の高校とは違い、常に時代と社会の流れに沿った教育内容を実施していく必要があります。その一つに学校教育の情報化があります。これは避けて通ることができません。そのためには、全校挙げて情報教育の充実に力を入れ、この分野で活躍する人材を育てていきたいと考えています。新しい時代は新しい教育を要求します。それに応えるべく教職員一同、日々の教育に創意と工夫を凝らし、本校教育の発展に努力を重ねていきたいと考えています。

「泉尾工業高校に感謝！」



前校長 國澤 正和

盛夏の候、白水会会員の皆様方には、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は、母校教育の推進・発展のため、暖かいご支援とお力添えを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、私は3月末をもちまして、35年の教員生活を修了いたしました。思えば、昭和47年4月に建設会社から教員へ転身し、都島工業高校へ赴任致しました。工業高校は全く知らないまま、教員になったものですから、最初は分からないこと、驚くことの連続で、本当に面くらったものでした。都島工業高校には23年間お世話になり、その後、平成7年からの12年間は教壇に立つこともなく、丘に上がった蛙のような生活となり、寂しいものでした。都島第二工業高校、教育委員会、工芸高校、東淀工業高校、そして最

後に泉尾工業高校へと目まぐるしく職場が替わり、貴重な経験を致しました。どこの学校もそれぞれ歴史と文化があり、なかなか味わい深いもので、いい経験を致しました。また、いろんな人との出会いがあり、教えられることの多さに感謝するばかりでした。そのようなこともあり、「一期一会」の教えを身をもって体験し、生徒にもその教えをお話いたしました。

80有余年の長い歴史とすばらしい伝統に輝く泉尾工業高校の校長を最後に退官した訳ですが、さすがに化学系の学校であり、諸課題に対する分析力は抜群でした。私自身にも非常に良い勉強になり印象深い学校で、生涯忘れることがないものと思っております。教職員の皆様、生徒に感謝するとともに、いろいろお世話になり有り難うございました。今後、創立90周年、100周年と発展していく泉尾工業高校、工業教育で全国をリードしていく学校として益々発展していくことを、つており

ます。すばらしい卒業生、立派な先生方がおられ、夢と希望にあふれた生徒がいる。学校とはそのようなところ。私はリタイヤしますが、泉尾工業高校の今後の活躍を生涯見

「思い出」



今は早、5月も半ば。体育祭の季節。今日は天気も良く泉工では多分、予行か準備の日で、あさっては本番。毎年の様に今年も応援合戦の声が四囲に轟くのだろうな、などと去年までの一年の移り行きを懐かしく思い返しています。天気予報では明日は雨マークもついていてそれが気に懸つたりもします。また今年の各科の団長は誰が勤めるのだろう。背景にはどんな絵が披露されるのだろう。優勝は何科が獲得するのだろう。どこまでも想像の輪は広がっていきます。それは故郷を去った人

「退職のあいさつ」



芦田 和光

泉尾工業高等学校には、四年間でしたが、お世話になりました。先生方をはじめ、たくさんの方々にご支援をいただき深く感謝しております。

私にとりまして、四年間というのは、長いようで短いものでした。しかし、その間に数多くの貴重な経験をさせていただきました。

クラブでは、全国の高等学校でもおそらく二つとないゲーマーズ部の顧問を三年間、担当しました。そこで生徒と一緒に、ボードゲームの全国大会に社会人ながら参加することができ、これは顧問をしていなければ体験できなかったと思っています。

また、今年の卒業生と苦勞しながら製作に励んだことは、今でも良い思い出の一つです。当時、浅学だったこともあり、資料を探しては製作物の中へ取り込んでいくような状態でした。

最後の一年は、担任という大役までさせていただき、自分の中では充実したものがありませんでした。ただ十人以上を介級させてあげられなかったことは感慨深いものがあつたところではあります。それでも、ひたむきに努力を重ね、信念を貫いて過ごしている生徒たちを見てみると、彼らと出会えたことは、大きな意味があるんだと思つています。その中でも一番の思い出は、文化祭でのステージ参加です。途中、空中分解しそうなところもあり、私としても、これはダメかもしれないとあきらめていたところがありませんでした。ですが、委員長をはじめ、クラスの子たちが、最後までさじを投げないでやり通してくれたことは、本当に嬉しかったと思つています。

現在、生徒たちは在籍中ではありませんが、逆境に負けず、自分の初志を貫き、数少ない高校生活を一日一日楽しく過ごしていつてほしいと折に願っています。最後になりましたが、皆様のさらなるご発展を心よりお祈りいたします。

「六年間の思い出」

竹島 彰範

初めまして、6年間泉尾工業高校で事務職員として、勤めさせて頂きました竹島と申します。

6年間という短い期間でしたが、泉尾工業で感じた思いや感想を語らせて頂いて、メッセージのかわりにさせて頂きます。

転動して1年目の体育祭、本当に活気があり、パワーがあり、みなぎる物があり、魅力あふれる、すばらしい演技が見れて、感動でいっぱいでした。

これがいまだに消えない記憶です。生徒の皆さんと色々話をしたりする機会がありました。

ご苦労さまでした

泉尾工業高校で勤務され、昨年度末で退職、ご勤労された先生方へ、今後のご活躍と健康を祈念いたします。(敬称略、順不同)

氏名	教科等	転出先等
國澤 正和	校長	退職
高木 廣居	英語	退職
吉岡 正彦	工業化学	退職
芦田 和光	電気	退職
森 尚子	保健体育	市立高等学校
坪田 博和	保健体育	桜宮高等学校
国方 健太	保健体育	大宮中学校
宮田 恵子	英語	
牧内 直子	家庭	府立長吉高等学校
竹島 彰範	学校事務職員	港南中学校
石田 晴彦	管理作業員	大隅東小学校

☆ナイス製品☆
マーガリン・ショートニング
ロード・フライングオイル
製造・販売

植田製油株式会社

〒658-0024 神戸市東灘区魚崎浜町17番地
TEL (078) 451-2361 FAX (078) 412-0991

■ファッショングラフィック科 だより

卒業生の皆様、平素は母校のために何かとご尽力賜り、科時代から教鞭をとられ、ファッショングラフィック科の発足当初から発展に尽力されました。

平成十九年度ファッショングラフィック科の職員体制は、桑原(科長)、佐々木(1年担任)、大石(2年担任)、高井(2年担任)、田中(3年担任)、松島(生活指導課)、伊藤(教務課)、西村(進路指導)、森下(図書課)、坂平、白戸、木原、木下の合計十三名です。なお、嘱託教員の中野久夫先生は、今年三月をもちまして任期満了となり、ご退職なされまし

■セラミック科 だより

セラミック科の職員は、前川、榎本(2年副担任)、藤岡(3年担任)、池中(生活指導課)、岸(科長)、河村(1年担任)、白戸の7名で引き続き勤務しており、みな元気で、今年度の在籍数は三年生27名、二年生31名、一年生40名です。うち女子生徒が半数を超えました。この10年の女子生徒の増加はある程度予想していましたが、ついに、という感じです。女子中学生にとって、セラミックがソフトなイメージ

た。中野先生はファッショングラフィック科の前身である繊維工業科時代から教鞭をとられ、ファッショングラフィック科の発足当初から発展に尽力されました。昨年度も7月に2・3年生の中から十数名がマロニエファッショングラフィック専門学校で体験学習を行ない、そこで製作された作品を文化祭や大阪府産業教育フェアのファッショングラフィックショーで一般の人々に披露しました。生徒も大変有意義な体験ができたとの感想を得ました。

さらに、昨年6月に大阪文

化服装学院でデザイン画の特別授業をしてもらい、生徒の高度な知識習得とともに、専門学校との連携を一層深めることを目指しました。また、大阪市立高等学校芸術祭や大阪府産業教育フェアで実習作品などの展示を行い、広く世間にファッショングラフィック科を知ってもらうことにも取り組まれました。今後、生徒には普段の教育活動に加えて、校外での活動を積極的に取り入れ、生徒がファッショングラフィック科に興味を持ち、有意義な学習内容となるようにしていきたいと思っております。

を採っておりますので、ご協力、ご紹介いただけたらよろしくお願

会社概要

社名 株式会社日商機械
 設立 昭和44年10月
 資本金 8,800万円
 代表者 代表取締役 総野 康通
 本社 大阪市浪速区木津川1丁目2番3号
 TEL 06-6568-3236 (代)
 FAX 06-6568-3237
 事業所 大阪・神奈川・千葉・埼玉・愛知・福岡
 従業員数 150名
 事業内容 1.土木建設機械のレンタルおよびリース
 2.物流機器、各種建設用工具のレンタルおよびリース
 3.測量機器および、家電、レジャー製品のレンタルおよびリース



計画して意欲や技術の向上を図っています。

先日、服部緑地にて春の校外学習を実施しました。学年をこえて交流を深めることができ、その後は体育祭に向けて皆が協力し準備を進めていきました。最後に泉薫会の皆様方の益々のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

テンションコントローラーシステム
エイコー測器株式会社
 代表取締役 中川 俊和 (M26卒)
 本社 大阪市西区南堀江1-18-27
 TEL (06) 6533-1801
 松本工場・東京営業所

工業化学科だより

今年度は平成十一年度から本校の工業化学科を支えてこられました吉岡正彦先生がご家庭の事情でご退職されました。七年の長きに渡り、設備関係の整理など働きやすい環境作りにご尽力いただきありがとうございます。また、生野工業高校より、正路高正先生がご転入され、一年生を中心に教科担当として即戦力で頑張っていたいております。

工業化学科は、バイオ技術・コンピュータ技術、そして環境・分析技術の3つの技術と技能を3本柱にして化学の基礎から応用まで幅広く指導しています。特に三年生で実施している「課題研究」という授業では、少人数制で生徒が自主的に色々な課題に取り組んでおります。最後の時間には一年間の成果を他の人に理解してもらえ、工夫を凝らした発表会も行っています。

昨年度より、変化していく社会や多様な生徒に対応するため授業の見直しとその内容の精選に取り組んだカリキュラムによって、職員が一丸と

機械科だより

機泉会の皆様、お変わりなくお過ごしでしょうか。今春六十五名が母校を旅立ち、皆様方の仲間入りをいたしました。大学進学者十四名、専門学校八名、就職四十名で、それぞれの進路先で活躍してくれる事と期待しております。

卒業生の皆様、お元気で活躍のことと思います。今年電気科では、芦田和光先生が退職されました。今後この活躍をお祈りしております。

この四月より、大野孝樹先生（此花総合）をお迎えしました。電気科に新しい風を吹き込み、生徒指導に毎日熱心に活躍されています。先日、春の遠足で科を挙げ須磨海岸へ行きました。深夜の豪雨で心配しましたが、

電気科だより

研究班が毎年参加しています。昨年のレースでは、他校の車に追突され、電気トラブル等の発生で不満足な結果に終わってしまいましたが、今年、悔いの残らぬレースにと車体作りを始めています。

昨年からは、総合優勝は果したものの、応援・背景共に入賞出来ず、今年こそはと五月十八日に臨みました。背景は、赤富士などの浮世絵を生徒なりにアレンジし、素晴らしい出来映えを感じさせる作品。

雨も上がり、二・三年生の応援団員を中心に新一年生との交流を深め体育祭に向けて、校歌・応援歌の指導を含め十分な効果を上げました。昨年からは、第二種電気工事士の試験方法が変更され、技能試験は単位作業だけとなり、事前に発表された十三問の中から出題されます。筆記免除者（電気科卒業生）の実技試験は六月に変更されました。詳しくは電気技術者試験センターのホームページをご覧ください。

科だより

取れる演技をミックスし、観客を大いに沸かせました。応援の部と競技の部は三位入賞を果しましたが、残念ながら背景は入賞を逸しました。来年は、過去の栄光を取り戻してくれる事を期待しています。

昨年、三十五年間使用に耐えてくれた帯のこ盤が設備更新されました。故障等で実習用材料の準備が遅れたりしていましたが、スムーズになりました。しかし工場は、二十年以上の機械がまだまだ多い状況なので、より多い更新が望まれます。

最後にりましたが、機泉会の皆様方のご健康と益々のご活躍をお祈りいたします。さい。また、在校生は自身のスキルアップを目指し電気工事士・危険物取扱者や工事担任者試験はチャレンジすべく真剣に勉学に励んでいます。今年も、大阪電業協会主催電気工事士技能競技大会が十月二五日に、大阪府立体育会館で開催され高校生の部で出場しますので、時間に余裕がありましたら、応援に来ていただければ幸いです。最後にりましたが、紫電会の皆様のご健康と益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

社会人一年生

新入会員から在校生へ

今だからできること

C平19卒 吉中 司織



私は泉尾工業を卒業し、奈良芸術短期大学に通っています。高校の時、大学はゆっくりと勉強できもつと楽なところだと思っていました。でも芸術系の短大は四年制大学と違い、毎日講義があり、すごく忙しいです。

大学での勉強は、今まで知らなかったことばかりです。興味のある事はばかりです。私は勉強があまり好きではありませんが、大学に入ってから、教えてもらっていることを吸収しようと思死に勉強しています。自分がやりたかったことならどんなに苦なことでも頑張れるんだと実感しています。

今思うことは高校でもっと勉強をしておけばよかったと

力して下さい。

大学に入って感じたことは...

M平19年卒 久米 智也



が、後悔をしているからこそ在校生のみなさんには、高校にいられる間にしっかりと勉強をしてほしいと思います。そして自分のことは自分でやるようになってもらいたいです。今は、先生が注意してくれたり怒ってくれたりするけど、大学に行けばそれはなくなり、提出物や出席日数が足りなくても誰も何も言ってくれません。就職してもそうだと思います。だから自分の行動に責任を持ってこれからの生活を送ってもらいたいです。

泉尾工業を卒業して恥じることのないよう、立派な社会人になって下さい。そして夢を現実に行けるよう精一杯努力して下さい。

高校生と社会人との大きな

違いの1つは、やはり時間だと思えます。

社会人になると、高校生の時よりは確実に行動の幅や選択肢はふえるので、色々なことができるようになると思います。ですが、選択肢が増えなくても、そのことに費やせる時間が限られているような気がします。(あくまでも大学生の立場からの意見ですが...)

逆に、高校生は選択肢は少ないけれど、社会人よりかは時間があると思います。その時間の中で1つのことにとんとん集中して取り組んだり、高校生の間にしかできないようなことをたくさん体験したり、高校生活3年間を遊び倒すことだってできると思います。

みなさんには、今自分がやりたいこと、今の自分にしかできないことをやってほしいです。(同じようなことをほんの数ヶ月前にも言った気がしますが...)

さわやかに風を創る

株式会社 大阪送風機製作所

〒557-0062 大阪市西成区津守2丁目1-41
TEL 大阪 (06) 6561-0701 (代)
TELEFAX (06) 6567-0701

佐藤征彦 (38M)	伊藤昌之 (49M)	菊池正明 (57C)	谷 正弘 (57C)
坂部義信 (58M)	竹田安雄 (58M)	谷本首吾 (平10M)	村林昌也 (平12M)
中津留守邦 (平13M)	猪野昇太 (平18M)		

産業機械設計・製作・組立
(NC旋盤、NCフライス、マシニングセンター)

有限会社 シマ精機

代表取締役 志磨村和雄 (M40卒)
〒662-0934 西宮市西宮浜 3-12
TEL 0798-36-8875
FAX 0798-36-8874
e-mail : simas@gold.ocn.ne.jp
url : http://www1.ocn.ne.jp/~simas/

一日一日を大切に



E平19卒 伊藤 誠一

日一日をただ楽しく過ごすばかりの毎日では、勉強の方が追いつかなくなったりしてしまいます。

皆さんは今高校生活をどのようにお過ごしでしょうか？クラブで頑張っている人、バイトをしている人、友達と遊んで楽しんでいる人など、色々なことをして楽しんでいることでしょうか。

確かに今はたくさん時間があるので楽しく過ごすことはいいと思います。私はクラブをしていたので友達と遊びに行くなどはあまりなかったけれど、クラブ自体が楽しかったので、毎日がかなり充実していました。しかし、その一

三年生はあと四ヶ月もすれば就職試験があります。自分のこれからの人生を真剣に考えなければなりません。私自身社会人になってまだ一ヶ月と少ししか経っていませんが、実社会は厳しく、大変な毎日の連続です。それなりの知識やマナーを持つていなければ恥をかくことばかりです。学校で教わる授業は全て必要かどうかはわかりませんが、技術的な就職先だと絶対に専門教科の基礎は必要になります。なので三年生の皆さんは、今からでもしっかりと勉強をして

ください。やはり高校最後の学年で遊びたいと思いますが、そこは我慢をして、せめて就職先や進学先の内定もしくは合格を決めることを最優先にしてください。その方が絶対に安心してゆつくりと遊べます。だから今は頑張ってください。一・二年生はまだ先の話と思うでしょうが、本当にすぐ自分の進路を決めることになりそうです。なので決して余裕をかまし過ぎないように、常に危機感を持ちながら、高校生活を送ってください。取れる資格はすべて取ることも忘れてはいけません。

今の一日一日をどのように過ごすかにより、自分の進路がある程度決まってしまうと思います。後悔のないように、明るく元気に、そして毎日が充実した高校生活となるように、頑張ってください。

19年度の主な学校行事（予定）

- 7月24日（火）体験入学
- 10月27・28日（土・日）大阪府産業教育フェア（会場オーキック200 2階アトリウム他）
- 11月9日（金）文化祭
- 1月18日（金）耐寒歩行
- 2月5日（火）～9日（土）2学年スキー研修旅行
- 3月4日（火）卒業式

お願い

白水会の運営のあり方について、会員各位のご意見をお寄せ下さい。

多くの方々のご投稿をお待ちいたしております。

卒業生の進路状況について

昨年度の進路状況は別表の通りです。

まず就職についてですが、求人数に関しましては、ここ数年、景気の回復傾向と、団塊世代の退職とが相まって、大幅に増加してきております。それに伴い一次試験の合格率も8割を超え、その後の就職希望者も、おおかた、年内には就職先が決定しております。とはいっても、無業者（フリーター）として、卒業して行く生徒も少なからず出てきており、その占める割合も卒業生数全体の1割にもなっております。

進学に関しては、大学・短大・専門学校とも各種の推薦入試制度の利用で、進学しやすい状況が続き、進学希望者も昨年度に比べて大幅増となってきました。一方、経済的事業の変化により、進学を諦める生徒も出てきております。

白水会会員の皆様におかれましては、この様な状況をご理解していただき、今後とも後輩たちの為に、より一層のご支援ご尽力を賜りたく願っております。どうぞ宜しくお願い致します。

2007年3月卒業生の進路状況

(2007. 3. 31. 現在)

	就職				進学			学		その他	卒業生数
	民間企業	公務	自営	縁故	小計	大学	短大等	専修等	職訓		
男子	102	0	8	110	17	4	23	0	44	5	159
女子	20	0	0	20	5	2	24	0	31	26	77
合計	122	0	8	130	22	6	47	0	75	31	236

第85回 泉工体育祭

今年も、雨天対策により予定されていた日程よりも一日遅れの体育祭が5月18日に行われました。

白水会々員の諸先輩方、保護者、近隣にお住いの方々等、関係の皆様方には、多大のご迷惑をおかけする次第でしたが、当日は予定されていた全日程を無事終えることが出来ました。応援、背景、仮装の泉工名物に、今年も新たな1ページを綴ることが出来ました。

平成19年度 体育祭 成績一覧表

		1位	2位	3位			1位	2位	3位	
総合成績		工業化学科	セラミック科	機械科	ハリケーン リレー		電気科	工業化学科 2組	工業化学科 1組	
学年 成績	1年	ファッション工学科1組 機械科1組	セラミック科	工業化学科 2組	4 周 リ レー	1年	ファッション 工学科1組	機械科1組	機械科2組	
	2年	工業化学科 2組		ファッション 工学科1組		工業化学科 2組	機械科2組			
	3年	工業化学科 2組	機械科1組	ファッション 工学科2組		2年	ファッション 工学科1組	工業化学科 2組	機械科2組	
応援		工業化学科	電気科	機械科	1 年		3年	機械科2組	工業化学科 2組	機械科1組
背景		ファッション 工学科	セラミック科	工業化学科	綱引き		ファッション 工学科2組	工業化学科 2組	セラミック科 工業化学科1組	
					対科リレー		ファッション 工学科	機械科	工業化学科	

環境装置（上、下水処理機械）の設計、製作

間機設工業株式会社

ISO9001:2000認証取得

間 文 彦 (M37卒)

本社工場 〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島5-11-22
TEL 06-6471-5767
FAX 06-6471-5311

岡山工場 〒701-2226 岡山県赤磐市由津里2007番地
TEL 08695-7-3481
FAX 08695-7-3471

第84回 泉工文化祭

平成18年11月9日(木)、10日(金)に開催されました。

テーマは、「楽しい時間のひととき泉工文化祭」でした。展示、ステージの各部門の表彰にあるように、多彩でおもしろみのある文化祭に仕立て上げられていました。

文化祭表彰一覧

◎ 展示の部

感動賞	3A2	つまようじアート
技術賞	テキスタイル部	テキってみてん
	3E	想定範囲内
	3A1	エネルギーについて
	1M2	切り絵
努力賞	ブラスバンド部	マーチングドリル
	1A2	バルーンアート
共感賞	美術部	美術部作品展示
	写真部	写真展示
	陶芸部	陶芸作品展示
	自動車部	自動車の展示

◎ ステージの部

感動賞	3C有志	紫陽花 feat.小西 ~finalステージ~ 受け継ぐ者はいるのか?
	3C有志	ビタミンC3 ~初LIVEが解散LIVE!?!~
技術賞	3F2	へいへい~い! ぼくは飛べる仮面舞踏会
	ブラスバンド部	吹奏楽演奏
努力賞	1F2	ファッションショー オールマイティー
	2F1	Do yOu Like yourseLf

◎ ポスターコンクールの部

優秀賞	1F1	ステージファッションショー
	1F2	ファッションショー オールマイティー



● 認定補聴器専門店 ●

(株)ナニワ補聴器センター

代表取締役 山村 清治郎
(工化41年卒)

〒569-0814 高槻市富田町1丁目6-10 Pあり
「JR・阪急どちらでも富田駅歩2分」 TEL072-692-6822

運動部の活動

空手道部

昨年は、3年生部員が1人しかいませんでしたが、下級の指導をしながら、本人自身も一生懸命練習を積み重ね、大阪府公立高等学校空手道大会個人組手の部において5位になりました。この功績が認められ、卒業前に大阪高体連より功労賞が授与されました。

現在、新2年生の部員がいない状態ですので、これから意欲をもった新入生が入部することを期待しています。

硬式野球部

3月までは部員14名と少数で練習をしてきましたが、4月から新入生が10余名入部し、また活発な練習ができるようになりました。

狭いグラウンドでの練習で思うような活動はできていませんが、選手個々に目標をしっかり持って取り組んでいます。また今年のチームの特徴は投打にバランスよく、接戦

でも力を発揮できています。今年の夏季大会では皆様方の期待に答えられる様に頑張りますので、より一層の応援よろしくお願い致します。

サッカー部

現在、サッカー部は部員14名と少ない人数ではありますが、毎日厳しい練習に取り組み、公式戦上位進出を目指して頑張っています。

皆様の御声援よろしくお願い致します。

バドミントン部

現在、女子部員3名で活動しています。(毎週、月水金の週三回、体育館で練習しています。)

昨年、三年生が引退してからは部員数が1名という状態で、活動が淋しいものとなりましたが、今年度は早々に2名の新入生が入部し、明るいスタートを切りました。

自転車部

自転車部は、顧問の吉岡先生が退職され、大きく様変わりしていますが、3年生部員3名は各々ロード練習を中心に頑張っております。予算の減少に伴い、機材等の不足を他校からの貸与等で補いつつ、大阪府春・秋期大会へ向けて毎日元気にペダルを漕いでいます。五月二六・七日には部員一名が、近畿大会美山ロードレースへ出場する事になりました。多くのご援助を戴いたの参加となりますので、日々の練習の成果を発揮し、諸先輩方の声援に少しでも答えられます様に、悔いの無いレースにしたいと部員共々思っております。

卓球部

本校卓球部は、週3日、体育館での練習を中心に活動し、メキメキと力をつけてきています。昨秋の市立大会ではダブルスでベスト8、団体戦で3位入賞の成果を挙げ、大阪でも少しづつ注目を浴びるようになってきました。そんな卓球部のモットーが「夢はどっか全国制覇!!」いつでもどこでも何度でも」の不屈のチャレンジ精神で頑張っています。

軟式野球部

白水会の皆様、平素より何かとご支援、ご指導を頂き誠に有難うございます。

現在、軟式野球部は部員15名で日々、練習に励んでおります。

昨年度は工業大会準優勝という好成績を残すことができました。少人数ではありますが、打倒私学を目標に意気込んでおります。

練習も以前と変わらず、泉尾公園グラウンドで行っております。

白水会の皆様におかれましては今後ともご指導、ご声援の程よろしくお願い申し上げます。

男子バレーボール部

現在、部員6名(選手4名、マネージャー2名)と少人数ですが、日々、バレーの技術向上と共に、スポーツマンとしての精神を磨いています。

現在は、新入部員の勧誘を継続しつつ、夏に行われる、近畿大会と高校総体に向けて、練習に励んでいます。これからも、泉尾工業高等学校バレー部としての誇りを胸に、活動を続けていきたいと思っております。

柔道部

現在一年生男子7名、女子1名を新入部員として迎え総勢19名の部員で毎日稽古にはげんでいます。また、今年度より梅垣先生(生野工業より転任)も顧問に加わっていただき、日本のトップで活躍されてきた技を指導していただいております。ここ二年間イ

野外活動部

工業化学科の生徒を中心とした少人数での活動ですが、毎年、夏のキャンプでは奈良県にある大峰山へ出かけています。普段ほとんど台所に立つことのない私たちが朝昼晩の食事を作るのはとても大変なことですが、でも終わってみると「楽しかったなあ」と思っています。六甲山や春日山に

現在部員は8名。学年の壁を越えて、和気藹々と、しかし闘志をむき出しにして頂点を目指し、毎日を過ごしています。

インターハイから遠ざかっておりますが、昨年の新人戦では60kg・66kg級と二階級の優勝者を出し、今年度のインターハイ予選に期待できる結果を残しております。今年こそインターハイに出場できるようにがんばりますのでみなさん応援よろしく申し上げます。

男子バレーボール部

現在、部員6名(選手4名、マネージャー2名)と少人数ですが、日々、バレーの技術向上と共に、スポーツマンとしての精神を磨いています。

現在は、新入部員の勧誘を継続しつつ、夏に行われる、近畿大会と高校総体に向けて、練習に励んでいます。これからも、泉尾工業高等学校バレー部としての誇りを胸に、活動を続けていきたいと思っております。

野外活動部

工業化学科の生徒を中心とした少人数での活動ですが、毎年、夏のキャンプでは奈良県にある大峰山へ出かけています。普段ほとんど台所に立つことのない私たちが朝昼晩の食事を作るのはとても大変なことですが、でも終わってみると「楽しかったなあ」と思っています。六甲山や春日山に

も登りました。乾いた土に落葉が幾重にもしきつめられた上を歩く時、靴裏を通して自然の形を感じます。緑のにおいはなんだか少し甘いような気がします。

水泳部

現在、水泳部は、1年生3人、2年生3人、3年生4人の計10人で仲良く、楽しく、おもしろく活動しています。今年GW前にプール掃除を始め、GW中から泳ぎ始めました。昨シーズンは市立大会で2年生の西浜君が決勝まで進み、また部員達が自己ベストを更新するなどの結果を収めることができました。今シーズンは念願のリレーに出場します。各部員達も個人種目で好成績を収めようと、日々練習に励んでいます。白水会の皆様におかれましては、今後共ご指導、ご声援の程よろしくお願い申し上げます。

陸上競技部

二〇〇七年度は新入生部員一名を迎え、少数精鋭でがんばっています。七月の大阪高校総体に向けて走り込んでいきます。期待して下さい。

文化部の活動

テキスタイル部

テキスタイル部は現在F科の2年生4人で活動しています。この間の新入生歓迎会では、先輩方が苦勞して作り上げたピンク色のウエディングドレスを着てクラブ紹介をしました。また自分たちも、ウサギとくまの巨大なぬいぐるみを新たに作り、発表することです。新入生にわかりやすくアピールすることができたと思



います。ドレスとぬいぐるみの効果で、その後すぐに新入生の女の子が見学に来てくれました。これからは新入部員をどんどん入れて、テキスタイル部を盛り立てていきたいと思

自動車部

昨年は8月に鈴鹿サーキットで行われた「Dream Cup」ドライバーカーレース鈴鹿に出場しました。試走の時からアクシデントが続き、残念ながら完走は出来ませんでした。また11月には万博記念公園で行われた「エコデンス」に出場し、ワイパーモーターの部で準優勝をしました。自動車のワイパーを動か



作し、40cmに出来るだけ長距離を走るという部門です。エコデンスには毎年出場していますが、入賞するのは久しぶりでした。今後も可能な限り出場していきたいと思

鉄道研究部

昨年十一月に部員が1名入りました。電気科の2年生です。しかしながら、ほとんど活動は出来ていません。OBの皆様今後ともご支援賜りますようお願いいたします。尚、文化祭は十一月九日です。

今年の文化祭は昨年同様、HOGEEJの走行展示を予定しています。どうぞお越し下さい。

写真部

現在、部員は3年生4名で活動しております。体育祭での記録活動や文化祭での作品展示用に個々の作品制作が主たる活動になっています。また、大阪市立高等学校芸術祭への出品も続けております。昨年度より北海道で行われました「写真甲子園」へ挑戦しています。今年度は、本戦出場を目指し、「食」をテーマに、一次予選に向けての作品作りに取り組んでいます。近年のデジタル化に対応出来る様に備

品としてデジタル一眼レフも一台ではありますが導入する事ができました。今年、モノクロ・デジタルの作品発表にご期待ください。

クッキング部

現在クッキング部は3年生一名で活動しています。今年の三月に四人の部員が卒業し、大変寂しい状況です。

活動は月に一回程度で、内容はバスタやうどんを麺から作ったり、手軽なものから難しいお菓子作りにもチャレンジしています。

三月に卒業した部員の中に製菓学校に進学した者もいます。楽しいクッキング部と専門学校の本格的な授業とのギャップに戸惑いながら日々頑張っている様子です。クラブ活動と共に勧誘の方にも力を注いで頑張りたいと思います。

美術部

顧問 寺田 博
この春3人の部員が卒業し、現在5名(3年生3名、2年生2名)の部員数になっています。新たに新入部員を勧誘していきたいと思



朝礼などの行事の放送を中心に活動しています。
アマチュア無線の有資格者は三級が一名ですが、全員取得を目指し頑張っています。

陶芸部

四月に新生二名と三年生二名が入部し、部員の数は現在五名となりました。女子部員ばかりで、おしゃべりと笑い声が絶えず、賑やかに活動しています。本年度も十月の最終土日開催予定の産業教育フェア（弁天町予定）や、十一月八、九日の文化祭、そして天王寺の美術館で毎年開催される市立美術館への出展を目指して、ひとつひとつの作業工程を丁寧に楽しみながら作品づくりに取り組んでいきたいと思えます。

卒業生のみなさんもお顔をのぞかせてください。お待ちしております。

軽音楽部

ネル4枚の大作「コスモス」を完成させ、共感を頂戴しました。また校外では、三学期早々に市立美術館での市芸術祭展示部門に一人一点以上のノルマで部員全員が出展することが出来ました。これから顧問一同、美術部が益々発展するよう見守ってゆきます。

放送無線部

昨年一月に同好会として発足し、今年四月にクラブに昇格しました。三年生二名、二年生一名の三名の部員で、体育祭・入学式・卒業式・生徒

軽音楽部では近年他校との交流、校外イベントへの出場が多くなってきました。まだまだ未熟な部員のために、卒業生が時間を見つけては指導に来てくれています。本当にありがたいことです。
他校に比べると人数の少ない泉尾工業軽音楽部ですが、

自分たちにしかできない音楽を目指し、日々練習しております。
機会がありましたら、ぜひ私たちの演奏を聴いてみてください。



ブラスバンド部

今年度は、1年生6名が加わり約18名の部員で毎日楽しく練習しています。昨年度校外での活動は、3000人の吹奏楽、御堂筋パレード、市立高校芸術祭では3校合同



（泉尾工・鶴商・此花総）、老人ホーム大正園にて慰問演奏、大正区区民祭り、大正区ふれあいコンサート、O.C.A.T.ブラスバンドフェスティバルに出演しました。また、夏には大阪府吹奏楽コンクールに出場し、北地区大会小編成の部で優秀賞・きらめき賞を頂き、そしてさらに大阪府大会に初出場し、優秀賞を受賞しました。昨年は惜しくも、関西大会を逃しましたが、今年度は関西大会出場を目標に頑張っています。また、昨年は小学校の運動会や交流授業のため小学生の皆さんの前で楽しく演奏させていただきました。

く機会がありました。校内では、体育祭・文化祭（ステージ・マーチングショウ）・卒業式を送る会、卒業式にて演奏を行いました。また、4月7日に淀商業高等学校と合同で初演奏会（第1回フレンドシップコンサート）を開催させていただきました。活動が年々盛んになってきている反面、楽器不足が悩みの種となっています。昨年一年間、O.B.・O.G.の方々からたくさん応援の声を頂き心強く感じました。今後も私たちの活動を応援してください。

長野忠雄先生著

「逝った妻が私を魅らせてくれた」

—九十三歳のロマン—を読んで

柴原 徳彰



私共の尊敬する長野先生は、かつて泉尾工高の校長であり、私共の上司であった。

老境の中で奥様を亡くされ、悲胆・虚脱の日々からやっと立ち直って、妻の死に手を合せる自分の立場から、人の死を見つめ、そして生きることに意義を懸命に思いつめられた。

その碑が、今度の「逝った妻が私を魅らせてくれた」の出版となった。

長野先生は泉尾工高を退職の後、コスモス文学の同人として、誌上にいくつかの作品を発表され、独自に何冊か出版されている。真面目な堅物のあの校長先生が、退職後作家として再出発されたことに驚いた。しかし実は先生にとって当然の変貌であったと思う。造り酒屋の長男に生ま

れながら、電気工学に進路を執り、戦時中は国防をも担う科学技術者、戦後は法学者として研究を重ねられた。また電気科の教師・教頭・校長へと立場を変えながら、学者であり教育者であった。校長という管理者の立場でありながら、若い教師と真つ正面から議論を交したり、深夜まで盃を交すことも稀ではなかった。私共もよく議論をしたり、深夜の酒場で一緒することも多かった。全く先生の縦横無尽の多彩な人間性には驚くばかりであった。

いろんな対象や場面で真正面から対処する、そんな人柄だけに家庭との両立は難しいのではと思うのだが、奥様とは深い所で十分理解し合っており、深夜の帰宅が日常であっても、深くれば穏やかな家庭生活を楽しんでおられたようである。八十半ばで奥様が入院され、看病の日が続いた。病院では専ら看病に、家では自ら料理人と認めるほどやもめ生活を充実させ、奥様の退院後のために手摺りを付け、床を改造

するなど、常人の及びもつかない真剣、全力投球の生活ぶりだったようである。

五年間の看病の末、奥様を亡くされ茫然自失の日が続いた、そんなある時、懇意な坊さんの助言がきっかけで立ち直ろうとされた。自らを励まし、やがて再起を決意された。

「私が生きていくための原点は妻の死にあった。私は妻の現実から目を逸らしてはならなかった。そして私は今、死は妻にとつて、あるいは一つの救いであつたかもしれないと思ひ始めている。しかし、生き残った私にとつては、哀しく辛いことである。その故にこそ、私がこの辛い哀しいことを越えなければ、妻は永久に救われないだろうと思つた。」

「そしてその時、自分に課せられた状況に逃げることもなく対峙し、自分を見つめながら、自分らしく生きたいという切実な思いであつた。」
そして、「過去の歴史の中に私を立ち上らせる原動力となるものが必ずあると信じて、新しい自分を取り戻すことこそ、亡き妻を再び私の許に魅らせることであると思つた。」と語られている。
先生は目が覚めた様に、周辺を見直し、古典へも関心を

魅らせ、情熱を傾けさせた科学技術の研究書、数学書などを読み、さらには「科学とはかけ離れたところにある」哲学的な文献を求めて、生と死の問題を追求された。「この研究はまだまだ続く。したがって研究が続く限り、そして取り戻した情熱を失わないう限り、私はいつも青春の真つ只中にいるわけだ。」
これが九十三歳の老人の心境である。私共凡人にとつては理解できない境地である。年令を超えて生きる若者の声である。ご自分でもためらいながら九十三歳のロマンとおつしやっている。同時にこの書は、愛してやまない妻へ贈る愛妻物語でもある。私も心してもう一度読返さなければならぬ書である。

友泉会のご案内

(泉工旧職員会の会)

例年の通り、初夏の夕べ、泉尾工高に在職された旧職員員の会「友泉会」の集いが、下記の通り開催されます。旧職員の皆様、繰り合わせてのご出席、お待ち申し上げます。



1. 日時 平成19年7月6日(金) 午後6時より
2. 会場 公共済ホテル「アウィーナ大阪」(大阪市天王寺区石ヶ辻町19-12) 電話06-6772-1441
3. 会費 6,500円(年会費1,000円を含む)

なお、当日ご出席かなわぬ方は、年会費(1,000円)のご協賛をお願いします。ご送金は、振替用紙をご利用下さい。
連絡先 泉尾工高 事務長 宛て
◇なおご返信時には、是非「近況など」お書き添えください。さらに随想や短歌・俳句など追送願えれば幸いです。

この人登場!

東海道五十三次を歩いて

C 34 中島 真

東海道を歩く事など考えた事もなかった。

50才過ぎより運動不足のため

体重73kg、血糖

血圧も高くなり

健康のため毎日

約5km、歩きは

じめる。定年後

はスポーツクラ

ブにてマシント

水中ウォーキン

グで毎日10km前

後歩く。

65才の誕生日

迄に東京迄歩く事を決心した。

1日に歩く距離・時間・天

候・交通費・遠くなった場合

の交通機関などを考え、日

曜日を基本として日帰りとする

ことにした。

JR東海道線に沿い国道1

号線と旧東海道を利用し、J

Rのフリーキップ等を最大限

利用する。

04年11月2日より自宅近く

の国道1号線の東京迄315

km地点より、豊橋駅迄いつもの

ウォーキング気分です。旧道の

松並木の中を歩く。25km。



く身の危険を感じた。37km。

12月25日、静岡から由比駅

を目指す。電車を3回乗り換

え、車内にて朝食。由比海岸

よりの富士山は今回初めて見

る夕日でとても美しかった。

由比駅近くで名物の桜エビ

掻き揚げとビールで旅行気分

を味わう。

冬場は中断した。快晴の日

を待つて3月19日に再スタ

トする。由比駅、10時出発。

快晴で朝より富士山が雲一つ

なく美しい姿を一日中見る事

が出来、又帰りの車内よりの

赤富士も最高だった。田子の

浦海岸よりの富士を見ながら

万葉集の一部を思い出しなが

ら沼津迄34km。

万博ボランティアで一時中

断。5月8日、沼津駅より帰

りの交通を考えて熱海を目指

す。熱海峠越は少々つかれた。

30km。

5月14日、熱海より小田原

迄37km。雰囲気は今迄と変っ

た気がする。今回初めて泊る。

5月15日、大船迄37km。大

船より自宅まで5時間。

5月21日、大船出発11時。

横浜迄20km。

5月22日、横浜7時出発。

日本橋の起点を目指す。多摩

川を渡り皇居前日銀を通り、

東京タワーを目の前にして16

時、起点に無事到着。感激の

一瞬。

帰りは新幹線内でビールで

乾杯す。本日32km、計371

km。

万博ボランティアその他で

京都三条への出発がおくれた

が、06年1月29日、岡崎より

西を目指し豊明市迄31km。

3月27日、豊明市より近鉄

弥富駅迄、途中53次で海上と

なる熱田宿の七里ノ渡しを見

学。

昔はここより三重県の桑名

市迄は船で渡った。31km。

5月2日、弥富駅よりJR

亀山駅35km。日帰りはここま

で。

6月1日、亀山駅より1号

線を鈴鹿峠を越えて滋賀県の

土山に宿泊する。33km。

6月2日、8時に出発して

東海道線草津駅迄33km。

岡崎の自宅迄帰る。

6月17日、草津より京都三

条迄NHKでくく旅岩本氏

に一日おくれで到着。

当日朝は晴れていたが、午

後山科より雨となり傘を購入

して雨中を歩き無事3時30分、

三条大橋に到着して合計日数

18日間、合計距離562km歩

いた事の満足感で一杯となっ

た。

各地を一人で歩いて多くの

人々と出会い、美しい風景に

接して楽しく幸せな日々の旅

となった。

1号線は歩行者にとつては

非常に危険である。急に歩道

がなくなったり、市街地では

歩道橋、地下道があり、特に

楽しみはない。

現在も週5日ぐらいいは歩い

たりスポーツクラブに通って

います。健康のため皆様も歩

く事をおすすめします。

若さと元気のもと
ウォーキングと山歩き!! (元登山部)

山歩き&登山をご一緒にしましょう。

登山用品は **(株)ケンコー社**

中村 久住

(D37卒)

大阪市北区豊崎1-3-11
TEL 06-6374-2788
FAX 06-6374-2256

こんなかい

どんなかい

D 38 同窓会 (和恒会)

平成18年7月9日(日)大阪千日前「がんこ」で約16年ぶり、第3回目の同窓会が開催されました。

何人集まるだろうかと心配していましたが、すでに退職された六辻丈夫先生にもご無理をいってご出席を賜り、23名もの同級生が集まり盛大な同窓会となりました。幹事の鈴木・山本両氏のご尽力には感謝致します。

さすがに卒業後42年経つと顔を見ただけでは誰だったか分からず、ほとんどの方は名前前で確認し合うという状況でした。名前と顔が一致すると懐かしさがこみあげ感激に浸りあいました。

また、六辻先生からは三年前に亡くなられた担任の北川先生のご生前の様子などお話し頂き、恩師の思い出が目に浮かんできました。その後、学生の頃の思い出話と近況報告でたいへん盛り上がり、あつという間の二時間半でした。

宴席の後は、二次会で近辺のカラオケに集まりひとときを楽しみました。歌がうま



(安田 和彦 記)

D 57 同窓会

平成18年11月4日(土)卒業して24年。10年ぶりの同窓会を京橋の松下IMPビル26Fのパノラマスカイレストランアサヒで行いました。

大阪城が見える夜景の素敵な所で同窓会を持つことが出来ました。

担任の銅子先生御夫妻と副担任の六辻先生を囲み14人の同級生が久しぶりに楽しく集まる事ができました。

銅子先生や典子先生や六辻先生もあの頃とお変わりなく、お元気で、私達卒業生も嬉しく感じました。

久しぶりにみな様にお目にかかれて、楽しい時間を過ごせて気持ちには、高校生にみんな戻っていました。先生方も含め昔話に花が咲き、楽しく語り合っ



おいしい料理を食べて、あつという間に楽しい時間は過ぎてしまいました。学生時代の友は一生の友で、これからも又同窓会を、頻繁にしたいと思えます。つぎにお目にかかれます日を楽しみに元気で頑張ってくださいませよう。

(野口(我妻) さゆり 記)

モ一一回 姫路・書写山に集う

昭和三十一年、本校を卒業して五十年の歳月を経た節目の年。

(モ一一回とは丑年生れ、もう一回もう一回といつ迄も会を重ねて行くこと云々趣旨)

平成十八年六月十七日、JR姫路駅に午後四時現地集合。送迎バスにて数十分の道程、出発時には生憎の小雨も、書写山ロープウェイ駅前の料理旅館「上山」に到着時には止んだ。

早速、一風呂浴びて、六時より宴会に。今回、遠方にも係わらず総勢二十名の出席。幹事の尽力に感謝。いつも出席を願っていた古賀先生の姿はなく(他界されて三年)一抹の寂しさを覚える。

幹事の乾杯の音頭で開宴。日頃の生活模様、家族の話、健康の維持、大病を患らった体験談等話の輪が広がり耳を傾むける。

お酒も進み大いに盛り上がり、そしてカラオケで最高潮



(A31 若松 邦彦 記)

A 28 クラス会報告

A 28 濱中 富三

今冬は暖冬異変で各地に様々な影響があったが、桜は季節を違えず、満開で新年年度の幕を開けてくれた。

我々のクラス会は3年毎に開くことを恒例としていたが、古希を過ぎてからは毎年、花の季節に開催する事にし、今年も4月10日(火)に開いた。「午前10時、地下鉄・天満橋駅集合」としたが、参加予定の7名は遅刻するものも少なく、「やあやあ」と挨拶を交わしながら大川を北に渡った。今回のクラス会第一部は(造幣局の通り抜け)である。

ウイークデーにも関わらず随分な人出である。観光バス



2007/04

のガイドに引率された団体客やいろいろなグループがそこかしこで、桜をバックに記念写真を撮るため所々で人団子が出来るが、場内放送が4カ国語(日、中、韓、英語)で観桜の諸注意をアナウンスしており、その上、南門からの一方通行だから人の流れはスムーズである。通り抜けも国際化の波に乗り遅れていない。

今年の「桜」は【松月】とされたが、まだすこし早いようで3分咲くらいだった。しかしここはサクラには事欠かない、そこかしこに由緒ある桜が説明書きとともにきれいに咲き誇り、仄かな芳香は心身をリラックスさせてくれる。

しばしアロマセラピーの境地にあったが、川岸に軒を連ねる屋台からの臭いは、野趣をそぐどころかイライラ世界に引き戻す役割を演じていた。

花を愛で懐旧談に花を咲かせて春を満喫し、約600メートルの桜並木のそぞろ歩きを楽しんだ。その距離ではもの足らずと源八橋まで歩を進めたのは、歩くことこそ健康の第一歩と虚勢を張っての上

であった。

第二部は北のホテルで幕を開けた。

開会の挨拶とかややこしい手続きなんかくそ食らえとばかりに、早速、みんなでへ乾杯で宴に入った。飲むほどに食べるほどに口周りがなめらかになり、近況報告や健康法の披露、若き日の秘話など話題はつきることはなかった。

生存されている恩師はきわめて少なく、また、我々の級友もかなりの数、鬼籍に入っており、彼らの昔語りになるとやはりしんみりとした雰囲気になってしまふ。

物故者のご冥福を祈りながら、健康の大事さを再確認し、みんなで元気を共有するために、不参加者への取り組みを始めたようではないかと話し合っただけで来年の再会を約して会場を後にした。

ビンゴの賞品提供を!

今年も7月13日(金)の総会のビンゴの賞品をご提供お願いします。総会・懇親会の盛り上げにご協力下さい。事前に事務局へご連絡ください。会場へ持参下さい。

45年目の同窓会の思い出

A 36 石黒 通夫

昨年、ほんとうに久しぶりに開催できました44年目の同窓会は、再会を約束して散会となりましたが、そのときの熱い思いが世話人の皆様の努力で、今年も実らせることができました。これも昨年に続けて、代表世話人を引き受けてくださいました「稲葉十四茂君」をはじめ、再会実現を目指してお世話して下さいました多くの皆様のお蔭でした。今回は24名の仲間に出席して頂きました。他に用事がある方や体調不良の方が居られ、出席者は昨年よりすこし少なくなりましたが、そんな方からは近況のメッセージを頂き、次回には是非出席したい旨の言葉が添えられていました。

開催場所は、今回もお世話くださいました「村井田 毅君」の紹介で、吹田の千里丘駅近くに在ります「パナヒルズ大阪(松下電器保養所)」を利用することができました。出席者の皆さんからは、「お久しぶりです。お元気ですか。」とか、「幹事さん、今回もお世話ご苦労さんです。」と声をかけて集まって来られました。

宴は昼から夕方にかけて会席料理に舌鼓を打ちながら、楽しく過ごす時を持つことができました。今回は座敷で一同「コ」の字で向い合わせの形を取りましたが、宴が進むにつれてあちこちに車座のグループができ、話が盛り上がりとともにグループ間でも会話のキャッチボールが生じ、大いに会場が弾むこととなりました。途中からは、足を伸ばしたり横になったりと本当にリラックスして過ごすことができました。話題の中心はやはり学校時代の思い出であり、就職で先生に苦労をかけたこと、就職後の人生の変遷、現在の生活など様々でした。皆がそれぞれに苦労を重ねたことと思いますが、現在元気に生活をしている話を聞きたいへん嬉しく感じられました。

宴の終わりには、前回のように入校歌、そして化学科の伝統ある応援歌「青きうちわ」を合唱し、来年も継続して開催することを誓って閉幕となりました。なお心残りのある者は、それぞれ麻雀グループやカラオケグループに分かれ

て遅くまで同館内を利用させて頂きましたこと、感謝申し上げます。

次回こそは、全員出席（昭和36年工業化学科）による開催ができることを願っています。また私たち工業化学科は、昭和36年卒の他の科の皆さんとも一緒に合同で同窓会をしたいと思っていますので、連絡をお待ちしています。

（連絡先・・・〒590-0532 泉南市北野一丁目1番16号 稲葉 十四茂 宛）



第57回白水会東京支部総会

- 日 時 .. 平成19年7月14日(土)
午後6時~午後8時30分
- 場 所 .. パーティハウスAGORA (アゴラ)
新宿区西新宿1-24-1 エスティック情報ビル4階
TEL. 03-5322-3545
- 会 費 .. 6,000円 (女性1,000円)
- 連絡先 .. 白水会東京支部事務局
TEL. 03-5550-6931
小笠原 孝男 (A46)

大盛況の06年総会

昨06年の総会は、昭和38・39・40年卒業の方々全員に、「卒業45年記念」として参加されませんかという案内状を送らせていただきました。

クラスの幹事(理事)さんからも呼びかけていただいたおかげで、これら三年度だけで約40名の参加がありました。中には、クラス同窓会の二次会を行ったクラスもありました。今回もビンゴを行いました。

昨06年の総会では、昭和38・39・40年卒業の方々全員に、「卒業45年記念」として参加されませんかという案内状を送らせていただきました。総会開始前から会場で体育祭のビデオ上映も行いました。今年の総会も41・42・43年卒に参加を特に呼びかけることにしております。クラスで声を掛けあってぜひご参加下さい。賞品付きビンゴ大会も行います。

トピックス

大正区立体地図の製作



大正区コミュニティ協会より「大正区立体地図」の製作の依頼があり、ファクション工学科3年生にも紹介され、3年生の生徒にとっては貴重な体験と自信につながりました。作品は大正区コミュニティセンター一階ロビーに展示されています。是非お立ち寄りください。

水谷仁三先生を悼む

かえる会々長 角井 進(M35)

二年前から病氣療養中でしたが、平成十八年十月九日、弘子夫人の手厚い看病もむなししく、ご家族、教え子達に見守られながら永眠されました。(享年八十四歳)

朝の始業時間ギリ、ギリ、大正区千鳥町の市電の停留所を降りてダラ、ダラ歩いていると、後方から「コラ!! 走れ、遅刻するぞ!!」顔を真っ赤にして怒鳴りながら猛スピードで追いかけて来る。かえる先生。「のんびり歩いていた生徒一同「こりやあ大変だ」一斉に走り出す、あの懐かしい光景が鮮明に思い出されます。

この様に、いつも元氣一杯の先生、昭和二十六年から五十九年退職される迄、体育指導、生活指導、進路指導等と、やんちゃな、生徒達時には、叱り、励まし随分お世話になった者が多いと思います。

又、クラブ活動ではバレーボール部の監督としての熱血指導は、高校バレー界に多大な実績を残されました。特に昭和三十年、四十年代にかけて公立高校でありながら大阪代表、近畿代表として、国体、

インター杯に出場し、大阪に「泉工」有りを全国に知らしめました。

その指導ぶりは、「練習で泣いて試合で笑え」がモットーでした。基本は忠実に、常にベストを尽くせ、チームは、個々の力を結集し、互いの弱点をカバーし、プラスアルファをいかに導き出すか、「練習で出来ないプレーは試合では、

治監督(四天王寺高校、ユニチカ、全日本女子監督を歴任)を筆頭に、大学、実業団で活躍した数多くの教え子達は今

も実業団、クラブチーム、家庭人バレー(昭和四十四年に水谷先生が中心となり設立)や協会運営に携っています。

先生も退職後は、教え子達との海外旅行や、テニス、ゴルフを満喫され、週末には、

岩崎先生を偲ぶ

C41 榎本 俊和

昨年の大晦日、岩崎先生と同期の俵隆徳さん(C30)からの電話でした。まさかと思

い何回も問いなおしましたが「岩崎が亡くなりました」その言葉に愕然としました。

先生は、昭和31年10月1日より平成9年3月31日まで、窯業科として昭和63年に科名変更したセラミック科の職員として定年退職されるまで勤務されました。

絵画、写真、そして陶芸と多種多才な趣味を持たれた定年後は宙吹きガラスの教室に通われ、その技術を私たちに教えていただきました。

定年退職後、嘱託として3年、その後クラブ指導2年間、65歳まではお元気で後輩の指導に頑張っておられました。

その後体調を崩され入院を繰り返されていましたが、まだまだ若く、すぐ元氣になられ学校に顔を見せてくださることと思っていましたので残念でなりません。

先生との出会いは、45年前の、私が窯業科に入学したときからです。第1印象は、ちよつと頑固、うでとつつきに

くく、うるさそうに見えましたが現実はどうでもありませんでした。先生の授業は、まづプリントや黒板に書かれる字がきれいなこと、説明がていねいで分かりやすい、物事を行う場合に何が大切で如何に行うべきか、人間としての生きる姿勢を、実験実習を通して熱心に教えていただいたように思われます。

卒業後、縁があつて共に勤めることになり恩師ばかりの中、私にはよき先輩であり相談相手で絶対になやな顔をされたことはありませんでした。ご迷惑ばかりかけてお返しすることなく天国に旅立たれてしまいました。

昨年1年間は、かなり苦しい闘病生活だったとお聞きしました。先生どうかごゆっくりお休みください。ご冥福をお祈りいたします。

編集後記

今号は母校創立八

十五周年を意識して創立当時の写真や記事などを取りあげてみました。泉工についてご研究されている阪大沢井 実教授の論文もいいタイミングで紹介できたのではと思っております。

会員だより

母校によせられた会員の方々の近況をお知らせいたします。会費納入、住所変更などの機会にどしどしお便りをお送り下さい。

S 16 小林 直樹
H 18年度会費納付します。

よろしく。年金のみの生活です。脳こうそくで、手足不自由ですが、水彩画をりハビリのつもりでやっています。皆様の御多幸祈ります。

S 16 沖 奨
旅行、写真など楽しんでいきます。

S 17 吉田 保
元気にやっています。家内を葬ってから四年。今はやっと一人暮らしになりました。

S 33 上瀬 和男

S 33 大阪在住者で、どなたかクラス会を開いてくれませんか？

恩師をお招きして。

S 42 木内 利雄

白水会役員、幹事の皆様にはご苦労をおかけ致します。暑い日が続きます。くれぐれもご自愛下さい。

S 44 寺西 悦子
家族四人プラス犬一匹プラス金魚二匹、メダカ百匹、皆元気です。

皆様もお元気で過ごして下さい。

S 45 岸本 康子

ヘルパーの仕事と週末は高齢になった両親の介護で大阪まで行っています。まだ50代。頑張ります。

S 45 瀬戸 淑子

毎年同窓会を開催しています。何年たっても昔のままです。

D 9 安田 育雄

孫のブログに投稿するのが楽しみです。IT時代になり便利です。

D 32 隈元 博久

リタイア後5年目に入りますが生活信条の健康第一を重視し、韓国文化の見聞を広める為に、年に2度程度の実践旅行を実施して居ります。白水会の増々の繁栄を祈ります。

D 36 井上 弘保

白水会報にて、堀田先生の訃報を知りました。心よりご冥福をお祈り致します。

D 38 十川 征洋

年金生活で畑仕事と孫の守と頑張っています。

D 44 坂井 純子

今年春より、四世代同居し楽しい毎日を送っています。

D 45 田中 順子

H 18年4月から仕事をやめて、孫の子守りをしています。久しぶりの専業主婦です。孫も3人になりました。

D 45 小森 久子

1月に同級生を亡くし大変残念です。福田さん、病院での最後の笑顔とっても美しかったです。安らかにやすみ下さい。

D 49 有森 佳子

高3、高2の娘を持つ主婦です。時代と共に学校も変わって行きますね。

D 62 平川 ひとみ

皆さんの顔が見たいです。でも分るかな！

D 平4 田村 真純

今年4歳になる小さな怪物(息子)と毎日戦っています。

C 16 花城 清文

年をとると足から弱るといわれませんが大体そのとおりですね。散歩するよう心掛けています。

一瀬先生を偲んで

A 34 大西 弘一

去る4月9日に一瀬吉郎先生が逝去されました。お通夜、告別式に濱中元校長先生はじめ多数の教え子がお見送りいたしました。

一瀬先生の授業は厳しく、私は特に物理化学が大好きでした。そのレベルの高さは、会社に入り、実務として大きな自信となりました。又、寝泊りされている工業化学科の3階で、放課後、授業以外の色々なお話をされたことも懐かしい思い出です。

思い起せば、私と一瀬先生は、高校入学以来のお付き合いで、高校時代3年間、クラス担任の先生として、高校卒業後、旭化成に入社、その後、先生のお招きにより、田崎真珠株式会社に入社し、現在に至り、その間、約50年間の長きにわたります。実の父親以上の親父としての存在であり、高校時代の恩師というよりも、人生の恩師の存在でありました。その間の語り尽くせない色々な思い出が、走馬灯のごとく駆け巡っています。年齢80歳はまだ若く、お教えいただく事がまだ沢山あり、

非常に残念です。ご冥福をお祈り申し上げます。安らかに眠りください。本当に有難う御座いました。

訃報

平成18年7月13日 園 つるゑ先生

(養護、昭和23年、46年ご在職) 享年91才

平成18年10月9日 水谷 仁三先生

(繊維工業科、昭和26年、59年ご在職) 享年84才

平成18年10月12日 井上 満徳先生

(工業化学科、昭和60年、平成14年ご在職) 享年48才

平成18年12月20日 森 毅先生

(機械科、昭和39年、42年ご在職) 享年63才

平成18年12月30日 岩崎 力先生

(窯業・セラミック科、昭和31年、平成9年ご在職) 享年71才

平成19年4月9日 一瀬 吉郎先生

(工業化学科、昭和27年、36年ご在職) 享年78才

御六名の先生方の訃報に接しました。謹んでお悔やみ申し上げます。

C 18 伊勢 清秀
月2回のゴルフと毎日のジョギングで元気に暮らしています。

C 20 永尾 弘
水墨画、日本画の手ほどきを受けています。

C 25 長尾 石広
定年になり14年経過、以来勝手気ままに送日、東洋蘭や富貴蘭など植木の手入れとグランドゴルフが日課。外出は絵画展と刀剣鑑賞のみ。加齢と共に体のあちこちに不具合となる処が出てくるがまずまず平穩、日々健康に感謝。

C 34 堀 信夫
7月1日、第5回34-C会、今年も元氣な数本先生を迎えて楽しい時をすごしました。

C 34 中島 真
お元氣ですか、昨年は岡崎市より東京日本橋まで、今年は岡崎市より京都三条大橋まで東海道53次を18日間にて完了しました。合計(562km)

C 34 徳田 耕一
健康に感謝。ハイキング、卓球、カラオケ、ボランテニア等で楽しく過しています。34Cクラス会毎年7月第一土曜日に実施しています。是非出席お待ちしております。皆で

楽しい一夜を過ごしましょう。

C 35 西口 武司
今年12月に満65才になりました。仕事とタバコ、現役引退。

C 36 岡林 勝一
卒業後45年経過しましたが現役であいかかわらず頑張っています。

C 40 西田 繁雄
還暦を迎え益々元氣に過しております。

C 47 山下 秀雄
一月二十九日に難波で44年

47年卒の陸上部メンバー12名で同窓会を行いました。99年六甲山以来の再会で当時の練習、成績また女性の話で盛り上りました。

A 16 太田 好弘
A 16年3月卒、大正13年3月生まれ82年間生き抜いて来ました。まだまだ元氣で頑張ります。

A 20 坂上 裕
毎日元氣で暮らしています。パソコン、デジカメ、園芸など楽しんでます。

A 22 大砂古 登
小学校安全協力員として2年半経過しました。ボランテニアで健康です。同級生も

徐々に減っていき淋しい限りです。

A 27 吉田 時雄
親睦クラブに加入しておりその役員に選任され、クラブ、町会の行事に参加しています。

A 31 若松 邦彦
同窓会を今年も姫路・書写山にて盛大に開催しました。

A 32 田中 良和
5年前から京都芸大の中国人の先生に水墨画を習っています。

A 32 牟田 正行
1年前にリタイアし、旅行に山登り、地域ボランテニアなど多忙な日々です。

A 32 上田 賢司
お蔭様で元氣にやっています。最近は惚け防止のため囲碁を楽しんでいます。

A 33 日笠 隆勝
相変わらず、野球の審判(摂津市野球連盟の副理事長・審判部長)をやっています。

A 34 門脇 二朗
元氣に、シルバーの仕事させてもらって居ります。

A 37 駒田 喜弘
昨年6月妻が他界し、少し

さみしい生活になりました。

A 37 宇都宮 正則
平成19年4月の統一地方選挙で7期28年の吹田市会議員を勇退し後輩にバトンタッチをします。

A 39 南野 芳男
泉工の皆様、お元氣ですか。今年07年問題のひとつであります団塊の世代の第一期生として、晩節を汚さぬよう、輝きある人生を進めてまいります。

A 41 山本 喜久雄
かたい頭を少しでも柔らかくしようと毎日「数独」を楽しんでいます。台湾での仕事も後一年余り精一杯がんばってきます。

A 44 深井 史郎
化学工業日報の中国国内市場に根を張る中室商門商社という新聞記事に私が載りました。

A 48 藤村 安彦
自分は今、品質保証の仕事をしております。妻は毎日、旨い手料理を作って待っていてます。

A 48 松村 昌代
会報を楽しく読みました。同窓会を、いいですね。昨年、

3人目の孫が産まれました。

M 20 渡辺 伝次郎
なんとか生きています。誕生日が来たら満80才です。

M 35 加藤 憲章
最近競技指向を離れて妻とラウンドするのが楽しくなりました。母校の自動車部の活躍の報に接し懐かしく思っています。

M 38 原田 征司
柔道部OBとして今後の活躍を期待しています。(旧姓是枝)

E 41 田中 啓啓治
平成18年の総会も仕事の都合でいけませんでした。残念！孫が女の子3人になりました。

E 41 平井 精一
泉工の後輩達が平成18年度に5、6名入社されました。単純にうれしいやん困った時はTELして イオンデパート(旧社名ジャパンメンテナンス)アクア事業部です。

E 47 梶野 千栄延
三男(4才)の為にも健康で、働ける事を感謝し、頑張っています！

36	36	36	36	36	36	36	36	36	35	35	35	35	35	34	34	33	32	32	32	31	31	31	31	30	28	28	28	28	28	27	27	25	23	20	20	20	18	16	16	15	15	14	14	12	9			
古橋	名小路	城田	岡本	今里	石井	松崎	野尻	上陸	石黒	本莊	堀井	寺田	高橋	上田	木村	牛尾	持永	玉西	神山	富武	脇	藤田	正田	飯田	松浦	桑田	唐崎	岡田	井上	新井	吉田	下山	桑坂	六車	大島	小谷	山口	北村	林	太田	東野	渡野	中原	山本	奥住			
靖夫	昌和	吉正	吉正	咲治	昇	明次	治	正博	通夫	輝夫	義彰	義彰	章	浩隆	富藏	治夫	満義	義光	利次	良盛	進	太朗	健	正幸	進	道雄	正則	充弘	善介	録吉	幸博	克美	和雄	龍一	力三	謙一	謙一	幸一郎	好弘	和美	三郎	清治	義美	謙一				
36	36	36	36	36	36	36	36	36	36	35	35	35	35	35	34	34	34	33	32	32	32	31	31	31	30	28	28	28	28	28	27	27	26	25	22	20	20	18	17	16	16	15	15	14	14	9		
三宅	播田	大野	小川	馬屋	稲葉	山本	林	加藤	有山	佐藤	戸田	多川	廣合	中崎	木村	池下	奥村	芳山	小嶋	宮崎	川崎	飯下	丸山	杉野	熊沢	加藤	上田	大岡	山田	竹内	本	湯原	水谷	坂上	岡田	橋本	大森	田野	大島	熊三	熊三	山田	桑野	中野				
邦男	英明	輝雄	政吉	政吉	四茂	英夫	功	高敏	彰三	久雄	勝裕	多川	純一	紀夫	一夫	弘	恵助	広士	寛	雄造	信次	信次	信次	道雄	貞夫	貞夫	隆一	功	功	栄一	信也	照雄	清久	裕	博	博	義男	義男	恒夫	清信	武二	朝藏	幸雄					
47	41	38	35	29	26	18	二	48	42	39	39	38	37	37	35	33	26	三	29	四	63	41	37	35	23	五	37	31	一	63	62	49	48	45	44	43	41	41	41	40	39	38	37	36	36			
中川	尾形	出嶋	伊藤	森本	浦井	山田	山田	山田	米川	山下	原田	前川	谷口	谷口	増田	岡部	三	下	三	四	神田	山野	加藤	道上	日置	間	一	一	平	江口	小園	井上	岡部	長副	津川	津川	山村	馬場	徳島	河村	高元	南條	山崎	村井				
邦男	秋吉	勝英	英明	進	清	善朗	善朗	善朗	美彦	哲朗	征司	金四郎	茂	茂	隆義	浩也	〇〇〇〇円	〇〇〇〇円	〇〇〇〇円	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元	元
61	44	38	35	32	28	20		45	39	39	38	38	37	37	34	26					47	39	35	28		34			平	63	60	48	46	45	43	42	41	41	40	39	38	37	36					
勝浦	高橋	北村	平井	平山	正月			城間	柴田	嶋津	池田	寅本	上村	稲田	中川						上原	金森	木谷	妹尾	M	佐々木			平	9	60	48	46	45	43	42	41	41	40	39	38	37	36					
茂	政男	秀昭	茂義	義春				正行	迪之	楠雄	吉昭	正和	隆幸	俊和							正信	淳	嘉英	晃		實			9	60	48	46	45	43	42	41	41	40	39	38	37	36						
42	二	52	三	52	41	五	●	平	61	48	47	46	46	43	42	40	40	39	39	38	38	37	36	35	35	35	34	34	33	33	33	32	32	31	30	28	26	26	25	25	24	20	20	一	平			
戸田	〇〇〇円	久保	上妻	田中	〇〇〇円	〇〇〇円	電気科	11	堀田	圓山	福永	辻田	香山	松原	白屋	三宅	北村	落合	葛城	中田	中安	増田	神田	元川	西田	山田	野田	野田	池田	野口	辰巳	中川	倉持	柳澤	下境	西川	飯内	釜浦	真砂	丸山	平							
省吾	安幸	啓一	啓一	啓一	卓	猛	智彦	智彦	智彦	智彦	智彦	智彦	智彦	智彦	智彦	智彦	智彦	智彦	智彦	智彦	智彦	智彦	智彦	智彦	智彦	智彦	智彦	智彦	智彦	智彦	智彦	智彦	智彦	智彦	智彦	智彦	智彦	智彦	智彦	智彦	智彦	智彦	智彦	智彦	智彦			
46	52	50		平	平	61	48	47	46	45	43	42	40	39	39	38	38	38	36	35	35	35	35	34	34	33	33	33	32	32	31	30	28	28	26	26	25	25	24	20	20	平						
阪本	古座	吉田		12	12	伊藤	上橋	清水	綾戸	小島	酒井	井澤	西田	吉田	吉田	西田	小島	余野	久野	久野	久野	久野	久野	久野	久野	久野	久野	久野	久野	久野	久野	久野	久野	久野	久野	久野	久野	久野	久野	久野	久野	久野	久野	久野				
利辛	鈴三	匡宏		西山	西山	伊藤	上橋	清水	綾戸	小島	酒井	井澤	西田	吉田	吉田	西田	小島	余野	久野	久野	久野	久野	久野	久野	久野	久野	久野	久野	久野	久野	久野	久野	久野	久野	久野	久野	久野	久野	久野	久野	久野	久野	久野	久野				

総会 (懇親会) のご案内

●今年も
ビンゴ大会で
賞品贈呈あり。

●総会は
今年卒業された
方の歓迎会でも
あります。

今年卒業された
皆さん
ぜひ参加下さい。

●日時 7月13日(金)PM6時半
受付PM6時より

●会場 大成閣
TEL(06)627-15238
(大塚市中央区南心斎橋1丁目18番12号
心斎橋大丸・そごうの間東へ約100米)

●会費 六、〇〇〇円
ただし、平成十八十九年の卒業生は二、〇〇〇円

議事の時間を短縮しますので会報の
決算、予算等をお目通しおきます。

●現・旧職員
一〇、〇〇〇円
推名 隆一
七、〇〇〇円
國澤 正和
三宅 毅

●お詫び
昨年度、納金いただきながら掲載もれ
になった方があります。お詫び申し上
げます。
平成18年度 追加報告
三、〇〇〇円
A32上田 賢司

49	池田	隆人	平	9	高木	慎二	三、〇〇〇円
41	片山	年久	一、〇〇〇円				
41	中原	英男	一、〇〇〇円				
43	渡辺	修	一、〇〇〇円				
48	川上	義文	一、〇〇〇円				
48	岩出	光男	一、〇〇〇円				
52	平井	精一	一、〇〇〇円				
54	安藝	勇	一、〇〇〇円				
59	河本	悦司	一、〇〇〇円				
平	16	宮城	健大	一、〇〇〇円			
59	大森	武	一、〇〇〇円				
52	藤本	喜久雄	一、〇〇〇円				
48	岩出	光男	一、〇〇〇円				
46	川上	義文	一、〇〇〇円				
43	渡辺	修	一、〇〇〇円				
41	片山	年久	一、〇〇〇円				
41	中原	英男	一、〇〇〇円				
41	藤田	興一	一、〇〇〇円				
44	三木	啓至	一、〇〇〇円				
47	梶野	千栄延	一、〇〇〇円				
48	岩出	光男	一、〇〇〇円				
52	平井	精一	一、〇〇〇円				
52	高橋	精二	一、〇〇〇円				
57	片岡	耕史	一、〇〇〇円				
52	稲山	勝弘	一、〇〇〇円				
平	4	桑田	健大	一、〇〇〇円			
平	10	垂水	良祐	一、〇〇〇円			
59	河本	悦司	一、〇〇〇円				
54	安藝	勇	一、〇〇〇円				
52	平井	精一	一、〇〇〇円				
48	岩出	光男	一、〇〇〇円				
46	川上	義文	一、〇〇〇円				
43	渡辺	修	一、〇〇〇円				
41	片山	年久	一、〇〇〇円				
41	藤田	興一	一、〇〇〇円				
44	三木	啓至	一、〇〇〇円				
47	梶野	千栄延	一、〇〇〇円				
48	岩出	光男	一、〇〇〇円				
52	平井	精一	一、〇〇〇円				
52	高橋	精二	一、〇〇〇円				
57	片岡	耕史	一、〇〇〇円				
52	稲山	勝弘	一、〇〇〇円				
平	4	桑田	健大	一、〇〇〇円			
平	10	垂水	良祐	一、〇〇〇円			
59	河本	悦司	一、〇〇〇円				
54	安藝	勇	一、〇〇〇円				
52	平井	精一	一、〇〇〇円				
48	岩出	光男	一、〇〇〇円				
46	川上	義文	一、〇〇〇円				
43	渡辺	修	一、〇〇〇円				
41	片山	年久	一、〇〇〇円				
41	藤田	興一	一、〇〇〇円				
44	三木	啓至	一、〇〇〇円				
47	梶野	千栄延	一、〇〇〇円				
48	岩出	光男	一、〇〇〇円				
52	平井	精一	一、〇〇〇円				
52	高橋	精二	一、〇〇〇円				
57	片岡	耕史	一、〇〇〇円				
52	稲山	勝弘	一、〇〇〇円				
平	4	桑田	健大	一、〇〇〇円			
平	10	垂水	良祐	一、〇〇〇円			
59	河本	悦司	一、〇〇〇円				
54	安藝	勇	一、〇〇〇円				
52	平井	精一	一、〇〇〇円				
48	岩出	光男	一、〇〇〇円				
46	川上	義文	一、〇〇〇円				
43	渡辺	修	一、〇〇〇円				
41	片山	年久	一、〇〇〇円				
41	藤田	興一	一、〇〇〇円				
44	三木	啓至	一、〇〇〇円				
47	梶野	千栄延	一、〇〇〇円				
48	岩出	光男	一、〇〇〇円				
52	平井	精一	一、〇〇〇円				
52	高橋	精二	一、〇〇〇円				
57	片岡	耕史	一、〇〇〇円				
52	稲山	勝弘	一、〇〇〇円				
平	4	桑田	健大	一、〇〇〇円			
平	10	垂水	良祐	一、〇〇〇円			
59	河本	悦司	一、〇〇〇円				
54	安藝	勇	一、〇〇〇円				
52	平井	精一	一、〇〇〇円				
48	岩出	光男	一、〇〇〇円				
46	川上	義文	一、〇〇〇円				
43	渡辺	修	一、〇〇〇円				
41	片山	年久	一、〇〇〇円				
41	藤田	興一	一、〇〇〇円				
44	三木	啓至	一、〇〇〇円				
47	梶野	千栄延	一、〇〇〇円				
48	岩出	光男	一、〇〇〇円				
52	平井	精一	一、〇〇〇円				
52	高橋	精二	一、〇〇〇円				
57	片岡	耕史	一、〇〇〇円				
52	稲山	勝弘	一、〇〇〇円				
平	4	桑田	健大	一、〇〇〇円			
平	10	垂水	良祐	一、〇〇〇円			
59	河本	悦司	一、〇〇〇円				
54	安藝	勇	一、〇〇〇円				
52	平井	精一	一、〇〇〇円				
48	岩出	光男	一、〇〇〇円				
46	川上	義文	一、〇〇〇円				
43	渡辺	修	一、〇〇〇円				
41	片山	年久	一、〇〇〇円				
41	藤田	興一	一、〇〇〇円				
44	三木	啓至	一、〇〇〇円				
47	梶野	千栄延	一、〇〇〇円				
48	岩出	光男	一、〇〇〇円				
52	平井	精一	一、〇〇〇円				
52	高橋	精二	一、〇〇〇円				
57	片岡	耕史	一、〇〇〇円				
52	稲山	勝弘	一、〇〇〇円				
平	4	桑田	健大	一、〇〇〇円			
平	10	垂水	良祐	一、〇〇〇円			
59	河本	悦司	一、〇〇〇円				
54	安藝	勇	一、〇〇〇円				
52	平井	精一	一、〇〇〇円				
48	岩出	光男	一、〇〇〇円				
46	川上	義文	一、〇〇〇円				
43	渡辺	修	一、〇〇〇円				
41	片山	年久	一、〇〇〇円				
41	藤田	興一	一、〇〇〇円				
44	三木	啓至	一、〇〇〇円				
47	梶野	千栄延	一、〇〇〇円				
48	岩出	光男	一、〇〇〇円				
52	平井	精一	一、〇〇〇円				
52	高橋	精二	一、〇〇〇円				
57	片岡	耕史	一、〇〇〇円				
52	稲山	勝弘	一、〇〇〇円				
平	4	桑田	健大	一、〇〇〇円			
平	10	垂水	良祐	一、〇〇〇円			
59	河本	悦司	一、〇〇〇円				
54	安藝	勇	一、〇〇〇円				
52	平井	精一	一、〇〇〇円				
48	岩出	光男	一、〇〇〇円				
46	川上	義文	一、〇〇〇円				
43	渡辺	修	一、〇〇〇円				
41	片山	年久	一、〇〇〇円				
41	藤田	興一	一、〇〇〇円				
44	三木	啓至	一、〇〇〇円				
47	梶野	千栄延	一、〇〇〇円				
48	岩出	光男	一、〇〇〇円				
52	平井	精一	一、〇〇〇円				